

# 議会だより

## 政務調査

8月23日、政務調査のため比布町を訪れた。北竜町議会教育委員や教育委員会職員、役員職員で、小中一貫校から義務教育学校へ移行した「比布町立比布中央学校」について学んだ。

そもそも義務教育学校とは小学校、中学校と分かれている校舎を一つにするという事だけではなく、9年間という義務教育期間で一貫性のある教育活動を行うため2016年から制度化された新たな学校である。

コロナ禍という事で校舎内の見学はできなかつたが、比布町職員より義務教育学校への移行に際し、苦労した点や反省点などありのままにお話いただいた。ハード《建物》をどうするのか《よりソフト》学校と教育委員会等との連携《をどのよう》にしていくかを考えることが大切であると学んだ。

## 活動報告

### 【9月】

- 3日：開町130年記念式
- 6日：北竜町敬老会
- 7日：全員協議会、議会運営委員会
- 9日：北竜町農業の未来を考える特別委員会

- 14～16日：第3回北竜町議会定例会
- 26日：例月出納検査(監査委員)
- 29日：空知町村議会役員会

## 活動予定

### 【10月】

- 4日：北海道町村議会議員公務災害補償等組合決算監査
- 6日：北空知監査員研修会(監査委員)
- 21日：深川市開村百三十年・市制施行六十年記念式典
- 26～27日：第1回空知町村議会議長会総会

下旬：例月出納検査(監査委員)

## 議員コラム

### 議員コラム

開町130年の節目の本年、新型コロナウイルス感染症第7波の最中ではあるがひまわりまつりが3年ぶりに開催された。開会式では、JAしふるさと応援隊として、本町に農業体験等で来町していた客室乗務員もオープン式に参加し花を添えた。各出店者もそれぞれ算段はあったと思うが、まずまずの売上があったのではないかと推察する。

生育段階での草取りボランティア、北中生による世界のひまわり栽培とひまわりガイド、長寿会連合会などの皆さんによるひまわりガイドなど、多くの観光客の皆さんに楽しんでもらえたものと思う。また、期間中、第4回国ひまわりオイルサミット、夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会や仮装盆踊り大会も開催された。演奏会のイベントをはじめ、多くの人々に支えられて開催されたひまわりまつりだが、もう一捻りが必要であると思う1ヶ月であった。

ひまわりの里基本計画の協議が進められているが、現状においても様々な課題があるのではないかと。特に新聞報道やテレビ放映後の土・日曜日の、最混雑時における国道275号線の渋滞緩和である。全ての車両がひまわりの里を目指しているわけではなく、苦情も伝えられている中、いち早く迂回させる必要があるのではないかと。混雑時には、トイレが渋滞。臨時トイレ設置も必要ではないか。また、駐車場係として町・JA職員などの出役によって支えられているが、何らかの対策が必要なのではないだろうか。

(中村 尚一)